

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4822176号  
(P4822176)

(45) 発行日 平成23年11月24日(2011.11.24)

(24) 登録日 平成23年9月16日(2011.9.16)

(51) Int. Cl.	F 1	
C 1 O M 173/02 (2006.01)	C 1 O M 173/02	
C 1 O M 135/26 (2006.01)	C 1 O M 135/26	
C 1 O M 159/18 (2006.01)	C 1 O M 159/18	
C 1 O N 10/12 (2006.01)	C 1 O N 10:12	
C 1 O N 20/00 (2006.01)	C 1 O N 20:00	Z
請求項の数 3 (全 12 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号	特願2005-97248 (P2005-97248)	(73) 特許権者	599035627
(22) 出願日	平成17年3月30日(2005.3.30)		学校法人加計学園
(65) 公開番号	特開2006-274109 (P2006-274109A)		岡山県岡山市北区理大町 1 - 1
(43) 公開日	平成18年10月12日(2006.10.12)	(74) 代理人	100113181
審査請求日	平成20年3月28日(2008.3.28)		弁理士 中務 茂樹
		(74) 代理人	100114535
			弁理士 森 寿夫
		(72) 発明者	柴原 隆志
			岡山県岡山市理大町 1 - 1 岡山理科大学
			理学部内
		(72) 発明者	坂根 弦太
			岡山県岡山市理大町 1 - 1 岡山理科大学
			理学部内
最終頁に続く			

(54) 【発明の名称】 潤滑剤及びそれを用いた機械又は装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ジ-μ-ーチオービス { (システイナト) オキソモリブデン (V) } 酸のアルカリ金属塩が 0. 1 ~ 2 0 重量% 溶解した水溶液からなる潤滑剤。

【請求項 2】

相互に接触する可動部分及びそれを覆う容器を有し、該容器の内部に請求項 1 記載の潤滑剤が封入されてなる機械又は装置。

【請求項 3】

前記潤滑剤が作動流体として機能する請求項 2 記載の機械又は装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、遷移金属原子と硫黄原子とを含有する錯体が溶解した水溶液からなる難燃性の潤滑剤に関する。また、そのような潤滑剤を用いた機械又は装置に関する。

【背景技術】

【0002】

摺動部を有する機械の運転のために用いられる潤滑剤として、可燃物である鉱物油などが広く用いられている。しかしながら、高層建築物や海底トンネルといったように、消火活動が実質的に不可能な場所で機械を運転する場合などには、可燃物の使用を避けたいという要求が大きい。可燃物が燃焼することによって発生する有毒ガスや煤煙は、高層建築